

平成28年度工芸科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目		英文授業科目名	ク ラ ス	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履修区分		組織・ フアイ バー 工学 コース	週授業時間数				備 考	教 職
							バイオ ベース 以外	バイオ ベース		1～2年次					
										春		秋			
										①	②	③	④		
数 学 系	数理応用演習	Exercises in Mathematics, Advanced	a	井川 治・磯崎泰樹・ 塚本千秋・矢ヶ崎達彦	1	講義・ 演習	○	○		2			週1回8週開講。 各クラスの対象: a 電子, b 情報, c 機物, d 機設及びそ の他の専攻。(4クラスの間 で学生数に大きな不均衡が 生じた場合はクラス間で人 数調整を行うことがある。) 本学学部科目「数理応用演 習」の既修得者は履修不 可。		
			b	井川 治・磯崎泰樹・ 塚本千秋・矢ヶ崎達彦											
			c	井川 治・磯崎泰樹・ 塚本千秋・矢ヶ崎達彦											
			d	井川 治・磯崎泰樹・ 塚本千秋・矢ヶ崎達彦											
	数理科学特論Ⅰ	Mathematical Sciences Ⅰ		朝田 衛・井川 治・ 奥山裕介	2	講義	○	○			2				電・情・ 機物・ 機設
	数理科学特論Ⅱ	Mathematical Sciences Ⅱ		岩塚 明・塚本千秋・ 峯 拓矢	2	講義	○	○			2				電・情・ 機物・ 機設
	数理科学特論Ⅲ	Mathematical Sciences Ⅲ		大倉弘之・矢ヶ崎達彦・ 磯崎泰樹	2	講義	○	○			2				電・情・ 機物・ 機設
	数理応用代数	Algebra and its Applications		朝田 衛	2	講義	○	○			2			本学学部科目「数理応用代 数」既修得者は履修不可。	電・情・ 機物 (必修) 機設 (必修)
	数理応用幾何	Geometry and its Applications		井川 治	2	講義	○	○			2			本学学部科目「数理応用幾 何」既修得者は履修不可。	電・情・ 機物 (必修) 機設 (必修)
	数理応用解析	Mathematical Analysis and its Applications		峯 拓矢	2	講義	○	○			2			本学学部科目「数理応用解 析」既修得者は履修不可。	電・情・ 機物 (必修) 機設 (必修)
	数理応用統計	Statistical Mathematics and its Applications		磯崎泰樹	2	講義	○	○			2			本学学部科目「数理応用統 計」既修得者は履修不可。	電・情・ 機物 (必修) 機設 (必修)
	代数学セミナー	Seminar on algebra		朝田 衛・奥山裕介	2	講義・ 演習	○	○			2				
	幾何学セミナー	Seminar on geometry		井川 治・塚本千秋・ 矢ヶ崎達彦	2	講義・ 演習	○	○			2				
解析学セミナー	Seminar on analysis		岩塚 明・峯 拓矢	2	講義・ 演習	○	○			2					
確率論セミナー	Seminar on probability theory		大倉弘之・磯崎泰樹	2	講義・ 演習	○	○			2					
英 語 系	Academic Writing	Academic Writing	a	カトウ ダニエラ	1	講義	○	☆		2			応、材創、材制、物合、機 能、パ対象 bクラスは平成28年度開 講せず 電、情、機物、機設、デザ 経、先ファ対象 建、デザ学対象		
			b	某											
			c	深田 智											
			d	田中廣明											
	書くための英文法総仕上げ	English Grammar for Writing		羽藤由美	1	講義	○	☆		2			平成28年度開講せず		
	Presentation Strategies	Presentation Strategies	a	ヒーリ サンドラ	1	講義	○	☆		2			応、材創、材制、物合、機 能、パ対象 電、情、機物、機設、デザ 経、先ファ対象 建、デザ学対象		
			b	坪田 康											
			c	カトウ ダニエラ											
	Technical English	Technical English	a	某	1	講義	○	☆		2			平成28年度開講せず		
			b	(Wever, Steven)											
Business Communication	Business Communication		(Wever, Steven)	2	講義	○	☆		2						
English for International Conferences	English for International Conferences		深田 智	1	講義	○	☆		2						

授 業 科 目		英文授業科目名	クラス	担当教員	単位 数	授業 形態	履修区分		組織・ ファイ バー 工学 コース	週授業時間数				備 考	教 職
							バイオ ベース 以外	バイオ ベース		1～2年次					
										春		秋			
										①	②	③	④		
英 語 系	TOEIC受験集中対策	Intensive TOEIC Preparation	a	林千恵子	1	講義	○	☆		2			a クラス:730点以上の取得 を目指すクラス。bクラス: 630点以上の取得を目指す クラス。ただし、初回にクラ ス分けテストを実施して、a,b クラスの間で受講者数を調 整する。		
			b	坪田 康											
			c	林千恵子											
	Media English: Listening, Reading and Discussion	Media English: Listening, Reading and Discussion		羽藤由美	1	講義	○	☆			2		西暦奇数年開講		
	Presentation English: Listening, Reading and Discussion	Presentation English: Listening, Reading and Discussion		竹井智子	1	講義	○	☆			2		西暦偶数年開講		
	Academic Reading	Academic Reading		田中廣明	1	講義	○	☆		2					
	Content and Language Integrated Learning I	Content and Language Integrated Learning I		竹井智子	1	講義	○	☆		2					
高 等 教 養 セ ミ ナ ー 系	Content and Language Integrated Learning II	Content and Language Integrated Learning II		ヒーリ サンドラ	1	講義	○	☆			2				
	Content and Language Integrated Learning III	Content and Language Integrated Learning III		(Wever, Steven)	1	講義	○	☆				2			
	高等教養セミナー1	Advanced Liberal Arts Seminar 1		基盤教育学域教員	1	講義	○	○		2			平成28年度開講せず		
	高等教養セミナー2	Advanced Liberal Arts Seminar 2		基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2		平成28年度開講せず		
	高等教養セミナー3	Advanced Liberal Arts Seminar 3		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー4	Advanced Liberal Arts Seminar 4		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2	平成28年度開講せず		
	高等教養セミナー5	Advanced Liberal Arts Seminar 5		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー6	Advanced Liberal Arts Seminar 6		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2	平成28年度開講せず		
	高等教養セミナー7	Advanced Liberal Arts Seminar 7		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2	平成28年度開講せず		
	高等教養セミナー8	Advanced Liberal Arts Seminar 8		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー9	Advanced Liberal Arts Seminar 9		基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2				
	高等教養セミナー10	Advanced Liberal Arts Seminar 10		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー11	Advanced Liberal Arts Seminar 11		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー12	Advanced Liberal Arts Seminar 12		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー13	Advanced Liberal Arts Seminar 13		基盤教育学域教員	1	講義	○	○		2					
	高等教養セミナー14	Advanced Liberal Arts Seminar 14		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
	高等教養セミナー15	Advanced Liberal Arts Seminar 15		基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2				
	高等教養セミナー16	Advanced Liberal Arts Seminar 16		基盤教育学域教員	1	講義	○	○			2				
	高等教養セミナー17	Advanced Liberal Arts Seminar 17		基盤教育学域教員	1	講義	○	○		2					
	高等教養講義	Advanced Liberal Arts Lecture		基盤教育学域教員	1	講義	○	○				2			
人 文 系	比較文学特論	Comparative Literature, Advanced		ペウ・エリフ・ロック	2	講義	○	○				2			
	制作思想	Poesis and Artistic Discourse		伊藤 徹	2	講義	○	○			2				
	宗教文化論	The Study of Religious Culture		秋富克哉	2	講義	○	○			2				
	京の伝統工芸ー知 美 技 (課題解決セミナー1)	Traditional Kyoto Art- Wisdom, Beauty and Technology(Problem- Solving Seminar I)		澤田美恵子・深田 智	2	講義・ 演習	○	○			2		集中		
	テックリーダー演習I	Tech Leader Seminar I		研究推進・ベンチャー支援室長・ (加納剛太)・(石谷康人)・ (出川 通)・(富澤 治)・ (和辻浩一)	2	講義・ 演習	○	○			2				
	テックリーダー演習II	Tech Leader Seminar II		副学長・津吹達也	1	演習	○	○		4			集中「テックリーダーセミ ナー A(課題解決セミナー 2)」の既修得者は履修不 可		

授 業 科 目		英文授業科目名	クラス	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履修区分		週授業時間数				備 考	教 職
							バイオ ベース 以外	バイオ ベース	1～2年次					
									春		秋			
									①	②	③	④		
自然科学系	環境化学特論	Environmental Chemistry, Advanced		山田 悦	2	講義	○	☆				2		応・ 材創・ 材制・ 物合・ 機能・ バ
	生体行動科学特論	Science of Human Performance, Advanced		野村照夫・来田宣幸	2	講義	○	○		4				
	バイオメカニクス特論	Biomechanics, Advanced		芳田哲也・(常岡秀行)	2	講義	○	○				2		
	「ものづくり」総合プロデュース論	Design&General Produce		久保雅義・(小林 洋)・ (松川恵一)・(水間健介)	2	講義	○	○		2			集中 平成28年度開講せず	
インターンシップ系	インターンシップⅠ	InternshipⅠ		専攻関係教員	1	演習	○	☆		2				
	インターンシップⅡ	InternshipⅡ		専攻関係教員	2	演習	○	☆		4				
	グローバルインターンシップⅠ	Global InternshipⅠ		研究科長	1	演習	○	☆		2				
	グローバルインターンシップⅡ	Global InternshipⅡ		研究科長	2	演習	○	☆		4				
K I 大 学 院 科 目	プロジェクト・マネジメント	Project Management		副学長	2	講義	○	○				2	国際科学技術コース科目 授業は英語で行う	
	IGP知的財産権論	IGP Intellectual Property		国際センター長・ (久保浩三)	2	講義	○	○		2			集中 国際科学技術コース科目 授業は英語で行う	
	産業創出論	Industry Creation Strategy		国際センター長・ (染原俊朗)・(田口貢士)・ (水越達也)	2	講義	○	○		2			集中 国際科学技術コース科目 授業は英語で行う	
	実践プロセスデザインⅠ	Practice Process DesignⅠ		太田 稔・飯塚高志・ 江頭 快・吉本昌広・ 小林和淑・大柴小枝子・ 門 勇一	2	講義・ 演習・ 実習	○	○		2				
	実践プロセスデザインⅡ	Practice Process DesignⅡ		太田 稔・飯塚高志・ 江頭 快・吉本昌広	3	講義・ 演習・ 実習	○	○				6	集中(インターンシップ 含む)	
	伝統産業特論	Advanced Conventional Technology		濱田泰以・桑原教彰・ 来田宣幸	2	講義・ 演習	○	○		2			集中	
	ジェロントロジー入門(超高齢 社会のユニバーサルデザイン)	Gerontology		大柴小枝子・(関根千佳)・ (日下菜穂子)	2	講義	○	○		2			集中	
	繊維系合同研修	Fiber/Textile Joint Research		青木隆史	2	演習	○	○	☆	4			集中、繊維・ファイバー工学 コース基幹科目、繊維・ファイ バー工学コースの修了は別 途実施の選抜試験合格者の み可。繊維・ファイバー工学 コース学生のみ履修可、1年 次	
	繊維系資格概論	Qualification for Textile Business		浦川 宏	2	講義	○	○	☆			2	集中、繊維・ファイバー工学 コース基幹科目、繊維・ファイ バー工学コースの修了は別 途実施の選抜試験合格者の み可	
	アカデミックインターン シップ(国内)	Academic Internship		浦川 宏・澤田美恵子・ 先端ファイブ科学専 攻担当教員・ バイオベースマテリアル 学専攻担当教員	2	実習	○	○	☆	3	3		集中、繊維・ファイバー工学 コース基幹科目、繊維・ファイ バー工学コースの修了は別 途実施の選抜試験合格者の み可。繊維・ファイバー工学 コース学生のみ履修可、1年 次、春又は秋学期開講	
アカデミックインターン シップ(海外)	Academic Internship (Overseas)		安永秀計	2	実習	○	○	☆	3	3		集中、繊維・ファイバー工学 コース基幹科目、繊維・ファイ バー工学コースの修了は別 途実施の選抜試験合格者の み可。繊維・ファイバー工学 コース学生のみ履修可、春又 は秋学期開講		
海外繊維・ファイバー工学 事情Ⅰ(欧米)	Fiber/Textile Technology in OverseasⅠ(America and Europe)		佐々木園	2	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学 コース基幹科目、繊維・ファイ バー工学コースの修了は別 途実施の選抜試験合格者の み可、春又は秋学期開講		
海外繊維・ファイバー工学 事情Ⅱ(アジア)	Fiber/Textile Technology in OverseasⅡ(Asia)		鋤柄佐千子	2	講義	○	○	☆	1	1		集中、繊維・ファイバー工学 コース基幹科目、繊維・ファイ バー工学コースの修了は別 途実施の選抜試験合格者の み可、春又は秋学期開講		
繊維基礎科学(英語版e-Learning科目)	Textile Fundamentals		奥林里子	2	講義	○	○	☆			2	繊維・ファイバー工学コース 基幹科目、繊維・ファイバー 工学コースの修了は別途実 施の選抜試験合格者のみ可		

注1. 履修区分欄の☆印は選択必修科目(バイオベースマテリアル学専攻は2単位以上必修)、○は選択科目を示す。

注2. 繊維・ファイバー工学コース欄の☆印は、繊維・ファイバー工学コースの「コース基幹科目」の選択必修科目(コース履修者は10単位以上必修)

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位数	授業形態	履修区分	週授業時間数				備 考	教職
						1～2年次					
						春		秋			
						①	②	③	④		
バイオテクノロジー概論Ⅰ	Introduction to Biotechnology I	専攻関係教員	2	講義	○	2					
バイオテクノロジー概論Ⅱ	Introduction to Biotechnology II	専攻関係教員	2	講義	○			2			
生体分子機能学特論	Advanced Cell Signaling and Engineering	片岡孝夫	2	講義	○	4				西暦奇数年度開講	
構造生物学特論	Advanced Structural Biology	原田繁春・志波智生	2	講義	○	4				西暦奇数年度開講	
細胞分子工学特論	Advanced Molecular Cell Biotechnology	某	2	講義	○			2		平成28年度開講せず	※
染色体工学特論	Advanced Chromosome Engineering	山口政光・伊藤雅信	2	講義	○			2		西暦奇数年度開講	※
細胞機能学特論	Advanced Functional Cell Biology	遠藤泰久・蔵本博史	2	講義	○	2				西暦偶数年度開講集中	※
微生物工学特論	Advanced Applied Microbiology	鈴木秀之	2	講義	○	4				西暦偶数年度開講	※
資源昆虫学特論	Advanced Applied Entomology	秋野順治・一田昌利	2	講義	○			2		西暦奇数年度開講集中	※
昆虫工学特論	Advanced Insect Biotechnology	森 肇・小谷英治・高木圭子	2	講義	○			2			
昆虫生理機能学特論	Advanced Insect Physiology and Function	齊藤 準	2	講義	○			2			※
生体機能学特論	Advanced Neuroscience	宮田清司	2	講義	○	4				西暦偶数年度開講	※
植物分子工学特論	Advanced Plant Science and Molecular Engineering	半場祐子・北島佐紀人	2	講義	○			2		西暦偶数年度開講	
進化ゲノム学特論	Advanced Evolutionary Genomics	高野敏行	2	講義	○	2				西暦奇数年度開講集中	
資源植物学特論	Advanced Applied Botany	中元朋実・堀元栄枝	2	講義	○			2		西暦偶数年度開講集中	※
バイオメディカル学特論	Advanced Biomedical and Developmental Biology	井上喜博	2	講義	○			2		昆虫バイオメディカル教育プログラム必修科目	
遺伝資源と社会－法規－	Genetic Resources: Law and Society	(森岡 一)	2	講義	○			2		遺伝資源キュレーター育成プログラム必修科目・集中	
応用生物学インターンシップⅠ	Internship for Applied Biology I	専攻関係教員	6	演習	○	－		－		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)	
応用生物学インターンシップⅡ	Internship for Applied Biology II	専攻関係教員	6	演習	○	－		－		社会人特別入試で合格し入学した者で、応用生物学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)	
応用生物学特別実験及び演習Ⅰ	Seminar and Laboratory Work in Applied Biology, Advanced I	専攻関係教員	6	実験	●	9	9		1年次		※
応用生物学特別実験及び演習Ⅱ	Seminar and Laboratory Work in Applied Biology, Advanced II	専攻関係教員	6	実験	●	9	9		2年次		※
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。

2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は

2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。

3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。

※ 授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。

4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

[illegible]

1. 担当教員名を（ ）で

4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

[illegible]

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。

2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。

3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。

過授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。

4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

[illegible]

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。

2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。

3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。

週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。

4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

[illegible]

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。

2. 単位数及び週授業時間数を（ ）で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。

3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。

4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。

遇授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。

5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

[illegible]

(8) 情報工学専攻

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を（ ）で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履修区分		週授業時間数				備 考	教 職
					インタ ラクシ ョンデ ザイン 学 コース 以外	インタ ラクシ ョンデ ザイン 学 コース	1～2年次					
							春		秋			
							①	②	③	④		
情報ネットワーク特論	Data Networks, Advanced	若杉耕一郎・榊田秀夫	2	講義	☆	○			4			※
ダイナミカルシステム論	Dynamical Systems Theory	飯間 等・森 禎弘	2	講義	☆	○			4			※
信号処理特論	Digital Signal Processing, Advanced	福澤理行	2	講義	☆	○	4					※
符号理論	Coding Theory	稲葉宏幸・梅原大祐	2	講義	○	○	4					※
コンピュータシステム特論	Computer Systems, Advanced	平田博章	2	講義	☆	○	4					
システム設計特論	System Design, Advanced	飯間 等・森 禎弘	2	講義	○	○	4					※
機械学習特論	Machine Learning, Advanced	荒木雅弘	1	講義	☆	☆	2				「知識情報学特論」または「知識情報学特論A」の既修得者は履修不可。	※
形式的意味論	Formal Semantics	辻野嘉宏	1	講義	☆	○	2				「知識情報学特論」または「知識情報学特論B」の既修得者は履修不可。	※
ソフトウェアメトリクス論	Software Metrics	水野 修	1	講義	○	☆			2		「ソフトウェア工学特論」または「ソフトウェア工学特論I」の既修得者は履修不可。	
実証ソフトウェア工学論	Empirical Software Engineering	水野 修	1	講義	○	○			2		「ソフトウェア工学特論」または「ソフトウェア工学特論II」の既修得者は履修不可。	
フィジカルインタラクションデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・櫛 勝彦・荒木雅弘・岡田栄造・野宮浩揮	4	講義・演習	○	☆	4				演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり	
ソーシャルインタラクションデザイン	Social Interaction Design	渋谷 雄・川北真史・倉本 到・西村雅信・池側隆之・山本景子	4	講義・演習	○	☆			4		演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり	
マルチメディア効果論	Multimedia Effects	寶珍輝尚	1	講義	○	☆			2			
データ工学特論	Data Engineering, Advanced	寶珍輝尚	1	講義	○	○			2			
形式言語理論	Formal Language Theory	辻野嘉宏・倉本 到	2	講義	☆	○	4					※
人間情報環境特論	Human Centred Information Processing Environments	渋谷 雄・倉本 到・(園山隆輔)	2	講義	○	☆			4			
認知的インタラクションデザイン学	Cognitive Interaction Design	岡 夏樹・渋谷 雄・西崎友規子・(植田一博)・(鮫島和行)・(高橋英之)・(渡邊克己)・(渡辺富夫)	1	講義	○	☆	1				集中	
情報工学インターンシップⅠ	Internship for Information Science Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)	
情報工学インターンシップⅡ	Internship for Information Science Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、情報工学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)	
情報工学特別実験及び演習Ⅰ	Special Seminar on Information Science Ⅰ	専攻関係教員	3	実験	●	●	9				1年次	※
情報工学特別実験及び演習Ⅱ	Special Seminar on Information Science Ⅱ	専攻関係教員	3	実験	●	●			9		1年次	※
情報工学特別実験及び演習Ⅲ	Special Seminar on Information Science Ⅲ	専攻関係教員	3	実験	●	●	9				2年次	※
情報工学特別実験及び演習Ⅳ	Special Seminar on Information Science Ⅳ	専攻関係教員	3	実験	●	●			9		2年次	※
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅰ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)				1年次	
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅱ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●			(9)		1年次	
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅲ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●	(9)				2年次	
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified Subjects Ⅳ	専攻関係教員	(3)	実験	●	●			(9)		2年次	
特別研究	Special Research	専攻関係教員										

☆は、選択必修科目（インタラクションデザイン学コース以外）は7科目12単位中8単位以上必修；インタラクションデザイン学コースは7科目14単位中8単位以上必修）

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。

2. 単位数及び週授業時間数を()で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。

4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォ

4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはsemester制による開講科目、①～④に表示があるものはクォ

一ター制による開講科目を示す。

週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」

は第4クォーターを示す。

5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

软卧列车挂

[illegible]

(10) 機械設計学専攻

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を（ ）で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

[illegible]

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 単位数及び週授業時間数を（ ）で囲んであるものは、特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるものを示す。
3. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
4. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
5. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

[illegible]

(12) 建築学専攻

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士		週授業時間数				備 考	教 職
						インター ンシッ プ	関連 科目	1～2年次					
								春		秋			
								①	②	③	④		
建築設計実習	Architecture Design Studio	専攻関係教員・ (江副敏史)・(青木 淳)	6	実習	●K	○		24*					集中・1年次 *タイ・チェンマイ 大学とのJDP (ジョイントディグ リープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時 間とする。
都市設計実習	Urban Design Studio	専攻関係教員・ (登坂 誠)・(宮城俊作)	6	実習	●	○		24*					集中・1年次 *タイ・チェンマイ 大学とのJDP (ジョイントディグ リープログラム) 関連科目のため 1単位あたり30時 間とする。
建築力学・構造特論	Structural Mechanics and Design, Advanced	小坂郁夫	2	講義	○			4					※
建築環境・設備論	Building Environment and Equipments	(岡田康郎)	2	講義	○			4					※
安心安全デザイン技術	Design Technology of Safety and Security	阪田弘一・高木真人	2	講義・ 演習	○		○	4					
建築保存再生技術	Design Technology of Reinforcement and Renovation	石田潤一郎・清水重敦・ 矢ヶ崎善太郎・金尾伊織	2	講義・ 演習	○		○	4					
建築設備設計技術	Design Technology of Building Equipments	(岡田康郎)	2	講義・ 演習	○		○	4					
建築構造設計技術	Design Technology of Building Structures	金尾伊織・村本 真・ 北尾聡子	2	講義・ 演習	○		○	4					
建築史	Architectural History	石田潤一郎・西田雅嗣・ 松隈 洋・清水重敦・ 矢ヶ崎善太郎	2	講義	○			4					※
建築デザイン	Architectural Design	木村博昭・Viray,Erwin・ 松隈 洋・米田 明・ 中村 潔	2	講義	○		○	4					※
都市デザイン	Urban Design	長坂 大・大田省一・ 赤松加寿江・笠原一人	2	講義	○			4					
イノベーションデザインプロセスⅠ	Design Process for Innovation I	櫛 勝彦・岡田栄造・ 多田羅景太・中坊壮介・ 鈴木篤史	4	演習	○					8		集中・履修定員有。 履修希望者が多い 場合は、履修制限 を行います。	※
イノベーションデザインプロセスⅡ	Design Process for Innovation II	櫛 勝彦・岡田栄造・ 多田羅景太・中坊壮介・ 鈴木篤史	4	演習	○					8		集中・履修定員有。 イノベーションデ ザインプロセスⅠ履 修者のみ履修可能。	※
住環境設計マネジメント	Design Management of Dwelling Environment	鈴木克彦・中山利恵・ 木下昌大	2	講義	○		○	4					※
都市・地域設計マネジメント	Design Management of Urban and District Environment	佐々木厚司・角田暁治・ 岩本 馨	2	講義	○		○	4					
建築構造設計マネジメント	Design Management of Building Structures	金尾伊織・村本 真・ 北尾聡子	2	講義	○		○	4					
都市・建築空間研究A	Architecture and Urban Spatial Research A	専攻関係教員	3	演習	●K	○		6				集中	※
都市・建築空間研究B	Architecture and Urban Spatial Research B	専攻関係教員	3	演習	●K	○				6		集中	※
建築設計実務実習Ⅰ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅰ	専攻関係教員	3	実習	●K	●		3		3		集中・学外イン ターンシップ・1 年次	
建築設計実務実習Ⅱ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅱ	専攻関係教員	3	実習	●K	●		3		3		集中・学外イン ターンシップ・2 年次	
建築設計実務実習Ⅲ	Internship for Architectural Design Practice-Ⅲ	専攻関係教員	3	実習	○	○		3		3		集中・学外イン ターンシップ	
国際設計プロジェクトⅠ	International Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○		○	8				集中	
国際設計プロジェクトⅡ	International Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○		○	8				集中	

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	建築士 インター ンシッ プ 関連 科目	週授業時間数				備 考	教 職
							1～2年次					
							春		秋			
				①	②	③	④					
国際設計プロジェクトⅢ	International Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8		集中	
国際設計プロジェクトⅣ	International Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8	集中	
建築設計学特別講義Ⅰ	Special Lecture-Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	○	○	2				集中	
建築設計学特別講義Ⅱ	Special Lecture-Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	○	○		2			集中	
建築設計学特別講義Ⅲ	Special Lecture-Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○	○			2		集中	
建築設計学特別講義Ⅳ	Special Lecture-Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○	○				2	集中	
建築設計学インターンシップⅠ	Internship for Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	○		-		-	社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可・1年次(通年)	
建築設計学インターンシップⅡ	Internship for Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	○		-		-	社会人特別入試で合格し入学した者で、建築設計学インターンシップⅠ既習得者のみ履修可・2年次(通年)	
特別制作	Studio Theses	専攻関係教員										
都市史	Urban History	中川 理・小野芳朗・大田省一・岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	○		4					※
建築都市再生学特別講義Ⅰ	Design for Living Heritage: Special LectureⅠ	専攻関係教員	1	講義	○	○	2				集中	
建築都市再生学特別講義Ⅱ	Design for Living Heritage: Special LectureⅡ	専攻関係教員	1	講義	○	○		2			集中	
建築都市再生学特別講義Ⅲ	Design for Living Heritage: Special LectureⅢ	専攻関係教員	1	講義	○	○			2		集中	
建築都市再生学特別講義Ⅳ	Design for Living Heritage: Special LectureⅣ	専攻関係教員	1	講義	○	○				2	集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	Design for Living Heritage: Project WorkⅠ	専攻関係教員	2	演習	○	○	8				集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	Design for Living Heritage: Project WorkⅡ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8			集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	Design for Living Heritage: Project WorkⅢ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8		集中	
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	Design for Living Heritage: Project WorkⅣ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8	集中	
地域設計プロジェクトⅠ	Resional Project of Architectural Design-Ⅰ	専攻関係教員	2	演習	○	○	8				集中	
地域設計プロジェクトⅡ	Resional Project of Architectural Design-Ⅱ	専攻関係教員	2	演習	○	○		8			集中	
地域設計プロジェクトⅢ	Resional Project of Architectural Design-Ⅲ	専攻関係教員	2	演習	○	○			8		集中	
地域設計プロジェクトⅣ	Resional Project of Architectural Design-Ⅳ	専攻関係教員	2	演習	○	○				8	集中	
都市・建築再生学演習Ⅰ	Practices of Architecture and Urban RegenerationⅠ	専攻関係教員	6	演習	●	T		6		6	1年次	※
都市・建築再生学演習Ⅱ	Practices of Architecture and Urban RegenerationⅡ	専攻関係教員	6	演習	●	T		6		6	2年次	※
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員										

1. 建築士欄の●は必修科目、○は選択科目を示す。
2. ●Kは特定課題型の必修科目、●Tは論文型の必修科目を表す。
3. 建築士のインターンシップ科目とインターンシップ関連科目から所定の単位を修得すれば、一級建築士受験資格の実務経験2年と認定される。
4. 教育職員免許状の高等学校教諭（工業）一種免許状を取得した者又は取得有資格者で、高等学校教諭（工業）の専修免許状を取得しようとする者は、「教職」欄に「※」を付した科目を24単位以上修得し、修士の学位を得ることにより取得することが出来ます。

(13) デザイン学専攻 (デザイン学領域)

1. 担当教員名を () で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	教 職
						1～2年次					
						春		秋			
						①	②	③	④		
アドバンストデザインプロジェクトⅠ	Advanced Design Project I	専攻関係教員	2	演習	☆S	2		2		1年次	
アドバンストデザインプロジェクトⅡ	Advanced Design Project II	専攻関係教員	2	演習	☆S	2		2		2年次	
伝統文化とデザイン	Traditional Culture and Design	並木誠士・中野仁人	2	講義	☆S		4				
技術革新とデザイン	Technological Innovation and Design	平芳幸浩・池側隆之	2	講義	☆S				4		※
デザイン学特別演習 A	Professional Workshop Series in Design A	専攻関係教員	1	演習	☆S	2				集中	※
デザイン学特別演習 B	Professional Workshop Series in Design B	専攻関係教員	1	演習	☆S			2		集中	※
建築史	Architectural History	石田潤一郎・西田雅嗣・松隈 洋・清水重敦・矢ヶ崎善太郎	2	講義	☆S	4					※
デザインプロジェクト A	Design Project A	専攻関係教員	4	演習	●	16				集中	※
デザインプロジェクト B	Design Project B	専攻関係教員	4	演習	●			16		集中	※
イノベーションデザインプロセスⅠ	Design Process for Innovation I	櫛 勝彦・岡田栄造・多田羅景太・中坊壮介・鈴木篤史	4	演習	☆D1			8		集中・履修定員有。履修希望者が多い場合は、履修制限を行います。	※
イノベーションデザインプロセスⅡ	Design Process for Innovation II	櫛 勝彦・岡田栄造・多田羅景太・中坊壮介・鈴木篤史	4	演習	☆D1	8				集中・履修定員有。イノベーションデザインプロセスⅠ履修者のみ履修可能。	※
フィジカルインタラクションデザイン	Physical Interaction Design	岡 夏樹・櫛 勝彦・荒木雅弘・岡田栄造・野宮浩揮	4	講義・演習	☆D1	4				演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり	
ソーシャルインタラクションデザイン	Social Interaction Design	渋谷 雄・川北眞史・倉本 到・西村雅信・池側隆之・山本景子	4	講義・演習	☆D1			4		演習環境の制約により、履修可能な人数に制限あり	
デザイン学実務実習	Internship for Design Practice	専攻関係教員	2	実習	☆D2	3		3		集中・学外インターンシップ(専攻長が認めた者のみ履修可)	
共創デザインアプローチ	Designing with People—Practice-Based Approaches	櫛 勝彦・ジュリア・カセム	2	講義	☆D2				4		※
プロダクトデザイン論	Product Design	岡田栄造・中坊壮介	2	講義	☆D2	4					※
ヴィジュアルデザイン論	Visual Design	西村雅信・市川靖史	2	講義	☆D2			4			※
インテリアデザイン論	Interior Design	野口企由・多田羅景太	2	講義	☆D2			4			
デザイン学インターンシップⅠ	Internship for Design I	専攻関係教員	6	演習	☆D2	—		—		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可・1～2年次(通年)	
デザイン学インターンシップⅡ	Internship for Design II	専攻関係教員	6	演習	☆D2	—		—		社会人特別入試で合格し入学した者で、デザイン学インターンシップⅠ既習得者のみ履修可・1～2年次(通年)	
デザイン学特別講義 A	Professional Lecture Series in Design A	専攻関係教員	1	講義	☆D2	1				集中	
デザイン学特別講義 B	Professional Lecture Series in Design B	専攻関係教員	1	講義	☆D2			1		集中	
特別制作	Master's Project	専攻関係教員									

☆は選択必修科目 (☆Sから6単位以上、☆D1から4単位以上、☆D2から6単位以上)

(14) デザイン学専攻(価値創造学領域)

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	教 職
						1～2年次					
						春		秋			
						①	②	③	④		
アドバンストデザインプロジェクトⅠ	Advanced Design ProjectⅠ	専攻関係教員	2	演習	☆S	2		2		1年次	
アドバンストデザインプロジェクトⅡ	Advanced Design ProjectⅡ	専攻関係教員	2	演習	☆S	2		2		2年次	
伝統文化とデザイン	Traditional Culture and Design	並木誠士・中野仁人	2	講義	☆S		4				
技術革新とデザイン	Technological Innovation and Design	平芳幸浩・池側隆之	2	講義	☆S				4		※
建築史	Architectural History	石田潤一郎・西田雅嗣・松隈 洋・清水重敦・矢ヶ崎善太郎	2	講義	☆S	4					※
都市史	Urban History	中川 理・小野芳朗・大田省一・岩本 馨・赤松加寿江	2	講義	☆S	4					
感性論特論	Aesthetics, Advanced	三木順子	2	講義	☆K				4		
近代造形史特論	History of Modern Art, Advanced	永井隆則	2	講義	☆K	4				平成28年度開講せず	
美術史学特論	History of Art, advanced	並木誠士	2	講義	☆K	2				平成28年度開講せず	
美術展示特論	Theory of Curation, advanced	平芳幸浩・永井隆則・三木順子	2	講義	☆K		4				
価値創造学実務実習	Internship for Creative Curation Practice	専攻関係教員	2	実習	☆K	3		3		集中・学外インターンシップ(専攻長が認めた者のみ履修可)	
博物館資料実習Ⅰ	Curatorial and Archival Exercises at MuseumⅠ	専攻関係教員	2	演習	☆K	4				1年次	
博物館資料実習Ⅱ	Curatorial and Archival Exercises at MuseumⅡ	専攻関係教員	2	演習	☆K			4		1年次 博物館資料実習Ⅰ既修得者のみ履修可	
博物館資料実習Ⅲ	Curatorial and Archival Exercises at MuseumⅢ	専攻関係教員	2	演習	☆K	4				2年次 博物館資料実習Ⅰ～Ⅱ既修得者のみ履修可	
博物館資料実習Ⅳ	Curatorial and Archival Exercises at MuseumⅣ	専攻関係教員	2	演習	☆K			4		2年次 博物館資料実習Ⅰ～Ⅲ既修得者のみ履修可	
価値創造学演習Ⅰ	Seminar on Axiology and CurationⅠ	専攻関係教員	4	演習	●	4		4		1年次	
価値創造学演習Ⅱ	Seminar on Axiology and CurationⅡ	専攻関係教員	4	演習	●	4		4		2年次	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員									

☆は選択必修科目 (☆Sから6単位以上、☆Kから8単位以上)

(15) 先端ファイブプロ科学専攻(論文コース)

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	教 職
						1～2年次					
						春		秋			
						①	②	③	④		
テキスタイルサイエンスⅠ	Textile ScienceⅠ(Textile Materials)	鋤柄佐千子	2	講義	●	2			1年次	※	
テキスタイルサイエンスⅡ	Textile ScienceⅡ(Textile Processing)	専攻長	2	講義	●	2	2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅠ	Textile EngineeringⅠ(Mechanics)	横山敦士	2	講義	☆			2	1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅡ	Textile EngineeringⅡ(Evaluation)	佐久間 淳	2	講義	☆			2	1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅢ	Textile EngineeringⅢ(Finishing)	奥林里子	2	講義	☆			2	1年次	※	
テキスタイルエンジニアリングⅣ	Textile EngineeringⅣ(Kansei)	桑原教彰	2	講義	☆			2	1年次	※	
テキスタイルエンジニアリングⅤ	Textile EngineeringⅤ(Sustainability)	西村寛之	2	講義	☆			2	1年次	※	
コンポジット・マニファクチュアリング設計	Composites / Manufacturing design	濱田泰以	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
ナノエンジニアリング設計	Nanoengineering design	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	森本一成	2	講義	○	2			集中		
サスティナビリティ設計	Sustainability Design	(木村照夫)	2	講義	○	2			集中	※	
先端ファイブプロ科学シナジーⅠ	Advanced Fibro SynergyⅠ	専攻関係教員	1	演習	○	2			2年次、集中		
先端ファイブプロ科学シナジーⅡ	Advanced Fibro SynergyⅡ	専攻関係教員	1	演習	○			2	集中		
先端ファイブプロ科学セミナーⅠ	Advanced Fibro-Science SeminarⅠ	専攻関係教員	2	講義	●			2	1年次、集中		
先端ファイブプロ科学セミナーⅡ	Advanced Fibro-Science SeminarⅡ	専攻関係教員	2	講義	●			2	2年次、集中		
社会の中の科学技術Ⅰ	Science and Technology StrategyⅠ	松本明博	2	講義	○	2			集中	※	
社会の中の科学技術Ⅱ	Science and Technology StrategyⅡ	小寺洋一	2	講義	○			2	集中	※	
社会の中の科学技術Ⅲ	Science and Technology StrategyⅢ	(柿田恭良)	2	講義	○	2			集中		
先端ファイブプロ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	(秋庭英治)・(大越 豊)・ (岡本信司)・(篠崎彰大)・ (久本誠一)・(堀 照夫)・ (増田敦士)・(具 剛)・ (近藤義和)・(野村昌広)	2	講義	○	2			1年次、集中		
プラスチック成形加工Ⅰ	Polymer ProcessingⅠ	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			集中		
プラスチック成形加工Ⅱ	Polymer ProcessingⅡ	専攻関係教員	2	講義	○			2	集中		
国際コミュニケーション演習Ⅰ	Seminar on International Culture CommunicationⅠ	専攻関係教員	2	演習	○			4	集中		
国際コミュニケーション演習Ⅱ	Seminar on International Culture CommunicationⅡ	専攻関係教員	2	演習	○			4	集中		
先端ファイブプロ科学インターンシップⅠ	Internship for Advanced Fibro-ScienceⅠ	専攻関係教員	6	演習	○	-		-	社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
先端ファイブプロ科学インターンシップⅡ	Internship for Advanced Fibro-ScienceⅡ	専攻関係教員	6	演習	○	-		-	社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブプロ科学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)		
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習Ⅰ	Advanced Fibro Science Seminar and ResearchⅠ	専攻関係教員	2	実験	●	6			1年次	※	
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習Ⅱ	Advanced Fibro Science Seminar and ResearchⅡ	専攻関係教員	2	実験	●			6	1年次	※	
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習Ⅲ	Advanced Fibro Science Seminar and ResearchⅢ	専攻関係教員	3	実験	●	9			2年次	※	
先端ファイブプロ科学特別実験及び演習Ⅳ	Advanced Fibro Science Seminar and ResearchⅣ	専攻関係教員	3	実験	●			9	2年次	※	
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

☆は、選択必修科目(5科目中1科目以上必修)

(16) 先端ファイブプロ科学専攻(特定課題型コース)

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	教 職
						1～2年次		春	秋		
						①	②				
テキスタイルサイエンスⅠ	Textile ScienceⅠ(Textile Materials)	鋤柄佐千子	2	講義	●	2			1年次	※	
テキスタイルサイエンスⅡ	Textile ScienceⅡ(Textile Processing)	専攻長	2	講義	●	2	2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅠ	Textile EngineeringⅠ(Mechanics)	横山敦士	2	講義	☆		2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅡ	Textile EngineeringⅡ(Evaluation)	佐久間 淳	2	講義	☆		2		1年次、集中	※	
テキスタイルエンジニアリングⅢ	Textile EngineeringⅢ(Finishing)	奥林里子	2	講義	☆		2		1年次	※	
テキスタイルエンジニアリングⅣ	Textile EngineeringⅣ(Kansei)	桑原教彰	2	講義	☆		2		1年次	※	
テキスタイルエンジニアリングⅤ	Textile EngineeringⅤ(Sustainability)	西村寛之	2	講義	☆		2		1年次	※	
コンポジット・マニファクチュアリング設計	Composites / Manufacturing design	濱田泰以	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
ナノエンジニアリング設計	Nanoengineering design	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			2年次、集中	※	
Kansei-Human設計	Kansei-Human Interface	森本一成	2	講義	○	2			集中		
サステナビリティ設計	Sustainability Design	(木村照夫)	2	講義	○	2			集中	※	
先端ファイブプロ科学シナジーⅠ	Advanced Fibro SynergyⅠ	専攻関係教員	1	演習	○	2			2年次、集中		
先端ファイブプロ科学シナジーⅡ	Advanced Fibro SynergyⅡ	専攻関係教員	1	演習	○		2		集中		
先端ファイブプロ科学セミナーⅠ	Advanced Fibro-Science SeminarⅠ	専攻関係教員	2	講義	○		2		1年次、集中		
先端ファイブプロ科学セミナーⅡ	Advanced Fibro-Science SeminarⅡ	専攻関係教員	2	講義	○		2		2年次、集中		
社会の中の科学技術Ⅰ	Science and Technology StrategyⅠ	松本明博	2	講義	○	2			集中	※	
社会の中の科学技術Ⅱ	Science and Technology StrategyⅡ	小寺洋一	2	講義	○		2		集中	※	
社会の中の科学技術Ⅲ	Science and Technology StrategyⅢ	(柿田恭良)	2	講義	○	2			集中		
先端ファイブプロ科学特別講義	Advanced Fibro-Science Special Lecture	(秋庭英治)・(大越 豊)・(岡本信司)・(篠崎彰大)・(久本誠一)・(堀 照夫)・(増田敦士)・(具 剛)・(近藤義和)・(野村昌広)	2	講義	○	2			1年次、集中		
プラスチック成形加工Ⅰ	Polymer ProcessingⅠ	専攻関係教員・(小滝雅也)	2	講義	○	2			集中		
プラスチック成形加工Ⅱ	Polymer ProcessingⅡ	専攻関係教員	2	講義	○		2		集中		
国際コミュニケーション演習Ⅰ	Seminar on International Culture CommunicationⅠ	専攻関係教員	2	演習	○		4		集中		
国際コミュニケーション演習Ⅱ	Seminar on International Culture CommunicationⅡ	専攻関係教員	2	演習	○		4		集中		
先端ファイブプロ科学インターンシップⅠ	Internship for Advanced Fibro-ScienceⅠ	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)		
先端ファイブプロ科学インターンシップⅡ	Internship for Advanced Fibro-ScienceⅡ	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人特別入試で合格し入学した者で、先端ファイブプロ科学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)		
特別課題実験及び演習Ⅰ	Experiments and Seminar in Specified SubjectsⅠ	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●	9			1年次	※	
特別課題実験及び演習Ⅱ	Experiments and Seminar in Specified SubjectsⅡ	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●		9		1年次	※	
特別課題実験及び演習Ⅲ	Experiments and Seminar in Specified SubjectsⅢ	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●	9			2年次	※	
特別課題実験及び演習Ⅳ	Experiments and Seminar in Specified SubjectsⅣ	専攻関係教員・(多田牧子)	3	実験	●		9		2年次	※	
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

☆は、選択必修科目(5科目中2科目以上必修)

(17) バイオベースマテリアル学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	教 職
						1～2年次					
						春 秋					
						①	②	③	④		
スタートアップセミナー	Start-up Seminar	専攻関係教員	1	演習	●	2	2			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	
バイオベースポリマー	Bio-based Polymers	(木村良晴)	2	講義	☆C				4	集中	※
バイオメディカル化学	Biomedical Chemistry	青木隆史	2	講義	☆C			4			※
生体分子立体化学	Stereochemical Aspects of Bio-molecules	安孫子 淳	2	講義	☆C				4		※
バイオカラーサイエンス	Biocolour Science	安永秀計	2	講義	☆C			4			※
バイオ機能材料	Bio-functional Materials	浦川 宏	2	講義	☆M			4			※
ナノ材料物性	Properties of Nanomaterials	櫻井伸一	2	講義	☆M				4		※
ナノ材料構造	Structure of Nanomaterials	佐々木 園	2	講義	☆M	4					※
バイオナノファイバー	Bio-Nano Fiber	山根秀樹	2	講義	☆M	4					※
生物資源システム工学	System Engineering for Bio-resources	小原仁実	2	講義	☆B	4					※
環境資源科学	Environmental Resources Science	麻生祐司	2	講義	☆B			4			※
タンパク質機能構造	Functional Structures of Proteins	北所健悟	2	講義	☆B			4			※
植物機能工学	Plant Function and Technology	半場祐子	2	講義	☆B		4				※
バイオベースマテリアル学セミナー	Seminar on Bio-based Materials Science	(相羽誠一)	1	演習	●			2		集中	
バイオベースマテリアル学国際セミナー	International Seminar on Bio-based Materials Science	(Jamali Mohamed Anouar)	1	演習	●	2				集中	
産学連携セミナー	Seminar on Academic-Industrial Cooperation	(北川和男)	1	演習	○	2				集中	
バイオベースマテリアル学インターンシップⅠ	Internship for Bio-based Materials Science Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者のみ履修可(通年)	
バイオベースマテリアル学インターンシップⅡ	Internship for Bio-based Materials Science Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	-	-			社会人特別入試で合格し入学した者で、バイオベースマテリアル学インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)	
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅰ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science Ⅰ	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅱ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science Ⅱ	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			1年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅲ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science Ⅲ	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
バイオベースマテリアル学特別実験及び演習Ⅳ	Seminar and Laboratory Work in Bio-based Materials Science Ⅳ	専攻関係教員	2	実験	●	6	6			2年次、春・秋学期(2回)開講、春秋いずれか受講	※
特別研究	Special Research	専攻関係教員									

1. 履修区分欄の☆は選択必修科目を示す。C、M、B群の内、自己の登録した群の内から4単位、それ以外の2群からそれぞれ2単位以上を履修すること。
2. その他、専攻共通科目に指定する科目の内から2単位以上を履修すること。

平成 2 8 年度工芸科学研究科教科課程表

(1) 専攻共通科目

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～3年次				
						春		秋		
						①	②	③	④	
数理解析学	Studies in Analysis for Mathematical Sciences	矢ヶ崎達彦・朝田 衛・塚本千秋・奥山裕介・井川 治	2	講義	○	2				
応用解析学	Studies in Applied Analysis	岩塚 明・大倉弘之・峯 拓矢・磯崎泰樹	2	講義	○	2				
応用運動生理学	Applied Exercise Physiology	野村照夫・芳田哲也・来田宣幸	2	講義	○			2		
言語文化情報学	Lectures on Language and Culture	澤田美恵子・南 剛・ペヴェレリ ブロック・深田 智・伊藤翼斗・吉川順子・水野義道	2	講義	○	2				
学術英語研究	Academic English	羽藤由美・田中廣明・林千恵子・深田 智・竹井智子・坪田 康・ヒーリ サンドラ・カトウ ダニエラ・某	2	講義	○			2	西暦奇数年開講	
現代思想論	Studies on Modern Intellectual Trends	秋富克哉・(荻野 雄)	2	講義	○			2		
視知覚理論	Theories of Visual Perception	大谷芳夫	2	講義	○	2			平成28年度開講せず	
ベンチャーラボ特別演習	Seminar on Venture Business	川北真史	2	講義・演習	○			2		
IGP 知的財産権特論	IGP Intellectual Property, Advanced	国際センター長・(久保浩三)	2	講義	○	2			集中 国際科学技術コース科目 (HDMIプログラム生推奨科目) 授業は英語で行う 但し、博士前期課程の「IGP 知的財産権論」既修得者は履修不可。	
産業創出特論	Industry Creation Strategy, Advanced	国際センター長・(染原俊朗)・(田口貢士)・(水越達也)	2	講義	○	2			集中 国際科学技術コース科目 (HDMIプログラム生推奨科目) 授業は英語で行う 但し、博士前期課程の「産業創出論」既修得者は履修不可。	

(2) バイオテクノロジー専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考	
						1～3年次					
						春		秋			
						①	②	③	④		
昆虫バイオメディカル	Insect Biomedical	森 肇・某・小谷英治・井上喜博	2	講義	☆	4					
ゲノム・エピゲノム制御学	Genomics and Epigenomics	山口政光・伊藤雅信・高野敏行・某・某	2	講義	☆				4		
生命分子構造機能学	Applied Molecular Life Sciences	原田繁春・鈴木秀之・井沢真吾・志波智生	2	講義	☆			4			
生体機能制御学	Cellular and Molecular Biology	遠藤泰久・野村照夫・片岡孝夫・宮田清司・蔵本博史・来田宣幸	2	講義	☆				4		
植物・生態学	Applied Plant and Insect Sciences	半場祐子・中元朋実・秋野順治・一田昌利・齊藤 準・北島佐紀人・堀元栄枝	2	講義	☆					4	
バイオテクノロジーインターンシップⅠ	Internship for Biotechnology Ⅰ	専攻関係教員	6	演習	○	-			-		社会人コース生のみ履修可(通年)
バイオテクノロジーインターンシップⅡ	Internship for Biotechnology Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	-			-		社会人コース生で、バイオテクノロジーインターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)
バイオテクノロジー特別演習Ⅰ	Special Seminar Ⅰ on Biotechnology	専攻関係教員	3	演習	●	3			3		
バイオテクノロジー特別演習Ⅱ	Special Seminar Ⅱ on Biotechnology	専攻関係教員	3	演習	●	3			3		
研究指導	Research Guidance										

☆は、選択必修科目（5科目中4科目以上必修）

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。

2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。

3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものは Semester 制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。

遇授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。

4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

拟日昧性公

[illegible]

(5) 設計工学専攻

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

[illegible]

(6) 設計工学専攻（価値デザインコース）

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～3年次				
						春		秋		
						①	②	③	④	
機械材料加工論	Manufacturing Processes for Engineering Materials	江頭 快・太田 稔・ 飯塚高志	2	講義	☆			4		
エネルギーインターネット設計論	Energy Internet Design	門 勇一	1	講義	☆	2				
通信信号処理	Signal Processing for Communications	大柴小枝子	1	講義	☆		2			
情報行動論	Human Behaviour in Information Environments	辻野嘉宏・岡 夏樹・ 澁谷 雄・寶珍輝尚・ 倉本 到	2	講義	☆			2		
Kansei-Human応用設計	Applied Kansei-Human Interface	森本一成・桑原教彰	2	講義	☆			2		
振動力学	Vibrational Dynamics	曾根 彰・木村 浩・ 増田 新・軽野義行	2	講義	☆			4		
デザインマネジメント論	Design Management	仲 隆介・木谷庸二	2	講義	☆	2				
デザイン経営学	Management of Technology and Design	川北眞史・久保雅義・ 勝本雅和	2	講義	☆			2		
デザイン基礎工学	Basics in Design Engineering	宮里 勉・佐藤哲也・ 小山恵美・北口紗織	2	講義	☆	4				
価値デザインインターンシップ	Internship for Comprehensive Design	専攻関係教員	2	演習	☆	-		-		社会人コース生のみ履 修可(通年)
ベンチャーラボ特別演習	Seminar on Venture Business	川北眞史	2	講義・ 演習	●			2		専攻共通科目
価値デザイン特別演習Ⅰ	Seminar on Comprehensive DesignⅠ	専攻関係教員	3	演習	●	6				
価値デザイン特別演習Ⅱ	Seminar on Comprehensive DesignⅡ	専攻関係教員	3	演習	●			6		価値デザイン特別演習 Ⅰ既修得者のみ履修可
価値デザイン特別演習Ⅲ	Seminar on Comprehensive DesignⅢ	専攻関係教員	3	演習	●	6				価値デザイン特別演習 Ⅱ既修得者のみ履修可
研究指導	Research Guidance									

☆は、選択必修科目（5単位以上必修）

(7) 建築学専攻

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～3年次				
						春		秋		
						①	②	③	④	
学域共通科目群										
芸術学・芸術史論	History and Theory of Art	並木誠士・三木順子	2	講義	○	2				
造形史論	Theory of History of Art and Design	永井隆則	2	講義	○		2			
専攻共通科目群										
都市再生計画論	Design Theory of Urban Regeneration	鈴木克彦・阪田弘一・高木真人	2	講義	○		2			
建築保存計画論	Design Theory of Building Conservation	鈴木克彦・中川 理・阪田弘一	2	講義	○	2				
伝統建築論	Theory of Japanese Architecture	石田潤一郎・清水重敦・西田雅嗣	2	講義	○		2			
伝統建築構造論	Traditional Building Structures	小坂郁夫・森迫清貴・金尾伊織・村本 真	2	講義	○		2			
専門科目群（建築設計学領域）										
建築表現論	Architectural Design Theory	木村博昭・長坂 大・Viray,Erwin・松隈 洋・角田暁治・清水重敦・米田 明	2	講義	○		2			
耐震構造論	Earthquake Resistant Structures	小坂郁夫・金尾伊織	2	講義	○	2				
建築設計監理論	Architectural Design Management Theory	木村博昭・長坂 大・Viray,Erwin・松隈 洋・角田暁治・清水重敦・米田 明	2	講義	○	2				
都市・建築設計インターンシップⅠ	Architecture and Urban Design Internship I	専攻関係教員	6	演習	○	6	6		1年次・社会人コース生のみ履修可(通年)	
都市・建築設計インターンシップⅡ	Architecture and Urban Design Internship Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	6	6		2年次・社会人コース生で、都市・建築設計インターンシップⅠ既修得者のみ履修可(通年)	
建築設計プロジェクトⅠ	Architecture Design Project I	専攻関係教員	3	実習	●	5	5		1年次	
建築設計プロジェクトⅡ	Architecture Design Project Ⅱ	専攻関係教員	3	実習	●	5	5		2年次	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員								
専門科目群（都市・建築再生学領域）										
建築史特論	Architectural History, advanced	石田潤一郎・清水重敦・矢ヶ崎善太郎・大田省一	2	講義	○	2				
都市史特論	Urban History, Advanced	中川 理・小野芳朗・岩本 馨・大田省一	2	講義	○		2			
保存活用設計特論	Preserved Utilization Advanced Design Methodology	長坂 大・米田 明	2	講義	○	2				
都市再生設計特論	Urban Regeneration and Design, Advanced	中川 理・小野芳朗	2	講義	○		2			
都市・建築活用管理論	Architecture and Urban Management for Utilization	中川 理・佐々木厚司・田原幸夫・(橋本敏子)	2	講義	○	2				
都市・建築再生学インターンシップⅠ	Internship for Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	6	演習	○	6	6		1・2年次	
都市・建築再生学インターンシップⅡ	Internship for Architecture and Urban Regeneration Ⅱ	専攻関係教員	6	演習	○	6	6		1・2年次	
都市・建築再生学特別演習Ⅰ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration I	専攻関係教員	3	演習	●	3	3		1年次	
都市・建築再生学特別演習Ⅱ	Special Seminar on Architecture and Urban Regeneration Ⅱ	専攻関係教員	3	演習	●	3	3		2年次	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員								

1. 修了要件として、専攻共通科目群より2単位以上、専門科目群より14単位以上、合計16単位以上修得すること。
ただし、必修科目は、「建築設計プロジェクトⅠ・Ⅱ」、「都市・建築再生学特別演習Ⅰ・Ⅱ」のいずれかを選択すること。

(8) デザイン学専攻(デザイン学領域)

1. 担当教員名を()で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～3年次				
						春		秋		
						①	②	③	④	
芸術学・芸術史論	History and Theory of Art	並木誠士・三木順子	2	講義	○	2				
造形史論	Theory of History of Art and Design	永井隆則	2	講義	○		2			
都市再生計画論	Design Theory of Urban Regeneration	鈴木克彦・阪田弘一・高木真人	2	講義	○		2			
建築保存計画論	Design Theory of Building Conservation	鈴木克彦・中川 理・阪田弘一	2	講義	○	2				
伝統建築論	Theory of Japanese Architecture	石田潤一郎・清水重敦・西田雅嗣	2	講義	○		2			
機能デザイン論	Theory of Functional Design	野口企由・中野仁人・岡田栄造・中坊壮介	2	講義	○		2			
デザイン解析論	Cognition and Design	(某)	2	講義	○	2			平成28年度開講せず	
イノベーションデザインプロセス演習A	Design Process Seminar for Innovation A	専攻関係教員	3	演習	○	6				
イノベーションデザインプロセス演習B	Design Process Seminar for Innovation B	専攻関係教員	3	演習	○		6			
プロジェクトデザイン論	Theory of Project Design	櫛 勝彦・西村雅信・池側隆之	2	講義	○	2				
デザイン学特別演習Ⅰ	Seminar and Research on Design Topics 1	専攻関係教員	4	演習	●	4	4			
デザイン学特別演習Ⅱ	Seminar and Research on Design Topics 2	専攻関係教員	4	演習	●	4	4			
デザイン学インターンシップⅢ	Internship for Design Ⅲ	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人コース生のみ履修可(通年)	
デザイン学インターンシップⅣ	Internship for Design Ⅳ	専攻関係教員	6	演習	○	-	-		社会人コース生で、デザイン学インターンシップⅢ既修得者のみ履修可(通年)	
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員								

(9) デザイン学専攻（価値創造学領域）

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～3年次				
						春		秋		
						①	②	③	④	
芸術学・芸術史論	History and Theory of Art	並木誠士・三木順子	2	講義	○	2				
造形史論	Theory of History of Art and Design	永井隆則	2	講義	○		2			
都市再生計画論	Design Theory of Urban Regeneration	鈴木克彦・阪田弘一・高木真人	2	講義	○		2			
建築保存計画論	Design Theory of Building Conservation	鈴木克彦・中川 理・阪田弘一	2	講義	○	2				
伝統建築論	Theory of Japanese Architecture	石田潤一郎・清水重敦・西田雅嗣	2	講義	○		2			
機能デザイン論	Theory of Functional Design	野口企由・中野仁人・岡田栄造・中坊壮介	2	講義	○		2			
デザイン解析論	Cognition and Design	(某)	2	講義	○	2			平成28年度開講せず	
建築史特論	Architectural History, advanced	石田潤一郎・清水重敦・矢ヶ崎善太郎・大田省一	2	講義	○	2				
都市史特論	Urban History, Advanced	中川 理・小野芳朗・岩本 馨・大田省一	2	講義	○		2			
芸術展示論	Theory of Installation	並木誠士	2	講義	○	2				
芸術批評論	Theory of Art Criticism	平芳幸浩	2	講義	○		2			
価値創造学特別演習Ⅰ	Special Seminar on Axiology and CurationⅠ	専攻関係教員	4	演習	●	4	4			
価値創造学特別演習Ⅱ	Special Seminar on Axiology and CurationⅡ	専攻関係教員	4	演習	●	4	4			
価値創造学インターンシップⅠ	Internship for Axiology and CurationⅠ	専攻関係教員	6	演習	○	6	6			
価値創造学インターンシップⅡ	Internship for Axiology and CurationⅡ	専攻関係教員	6	演習	○	6	6			
研究指導	Research Guidance	専攻関係教員								

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

[illegible]

(11) バイオベースマテリアル学専攻

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

[illegible]

5. 特別教育プログラム

(1) 遺伝資源キュレーター育成プログラム

遺伝資源キュレーターとは、遺伝資源の研究や利用に必要とされる知識と技術を修得した高度専門技術者であり、主に生物を取り扱う企業、研究機関あるいは地方公共団体の試験場、防疫機関などにおける遺伝資源の収集・維持・管理、および解析・応用・開発などの分野での活躍が期待されています。

遺伝資源キュレーターに求められる知識と技術は大きく分けて次の3つです。

1. 生物多様性に関わる社会的背景と法規の理解
2. 遺伝資源の取り扱いと利用技術
3. 生物多様性の科学的理解

この遺伝資源キュレーターの養成を目的として、遺伝資源キュレーター育成プログラムを実施します。

下記に掲げる本プログラムに関する科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、遺伝資源キュレーターとして認定証を交付します。（国家資格ではありません。）

遺伝資源キュレーター育成プログラムの履修について

- ①履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を示します。
- ②遺伝資源キュレーターの認定には、以下の教科課程表から、必修4単位を含め、各カテゴリー（生物多様性に関わる社会的背景と法規の理解、遺伝資源の取り扱いと利用技術、生物多様性の科学的理解）から4単位以上の計14単位以上の単位を修得することが必要です。
- ③教科課程表の備考欄には、各科目の属性等を示していますが、修了要件に含めることができる単位については、大学院工学科学研究科履修規則 別表4（第5条第1項関係）の（1）修了に必要な単位数で確認してください。
- ④教科課程表の備考欄に京都府立大学大学院の表示のある科目については、別途単位互換科目としての履修手続きが必要となります。
- ⑤設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。

○遺伝資源キュレーター育成プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
				①	②	③	④	
生物多様性に関わる社会的背景と法規の理解								
遺伝資源と社会－法規－	(森岡 一)	2	●		2		応用生物学専攻開講科目・集中	
資源昆虫学特論	秋野順治・一田昌利	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講・集中	
資源植物学特論	中元朋実・堀元栄枝	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目 西暦偶数年度開講・集中	
バイオビジネス論	椎名 隆 他	2	☆	2			京都府立大学大学院 生命環境科学研究科開講科目	
遺伝資源の取り扱いと利用技術								
遺伝資源学実習及び演習	伊藤雅信・一田昌利・ 井上喜博・北島佐紀人・ 都丸雅敏	2	●	2			集中授業	
染色体工学特論	山口政光・伊藤雅信	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講	
昆虫工学特論	森 肇・小谷英治・ 高木圭子	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目	
植物分子工学特論	半場祐子・北島佐紀人	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目 西暦偶数年度開講	
細胞分子工学特論	某	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目 平成28年度開講せず	
植物バイオテクノロジー特論	椎名 隆 他	2	☆	1	1		京都府立大学大学院生命環境 科学研究科開講科目・集中講義	
生物多様性の科学的理解								
進化ゲノム学特論	高野敏行	2	☆	2			応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講・集中	
昆虫生理機能学特論	齊藤 準	2	☆		2		応用生物学専攻開講科目	
微生物工学特論	鈴木秀之	2	☆	4			応用生物学専攻開講科目 西暦偶数年度開講	
構造生物学特論	原田繁春・志波智生	2	☆	4			応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講	
生体分子機能学特論	片岡孝夫	2	☆	4			応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講	
生体機能学特論	宮田清司	2	☆	4			応用生物学専攻開講科目 西暦偶数年度開講	
細胞機能学特論	遠藤泰久・蔵本博史	2	☆	2			応用生物学専攻開講科目 西暦偶数年度開講・集中	

(2) 昆虫バイオメディカル教育プログラム

本プログラムは、国公大学が連携することにより、昆虫が有する優れた生物学的機能の解明と、そのヒト疾患研究や再生医療への活用をめざす独創的な医工農連携教育プログラムです。

下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了の認定をすることができます。

昆虫バイオメディカル教育プログラムの履修について

- ①履修区分欄に●印を付したものは必修科目を、☆印を付したものは選択必修科目を示します。
- ②以下の教科課程表から、**必修9単位、選択必修科目6単位以上の計15単位以上の単位の修得が必要です。**
- ③設備等の都合により、受講者数を制限することがあります。
- ④受講するに当たり、交通費等について、一部自己負担がある場合があります。
- ⑤備考欄に「応用生物学専攻開講科目」または「機能物質化学専攻開講科目」の記載がある科目については、当該専攻学生に限り、修了要件に含めることができます。ただし、当該専攻以外の専攻の者については、他専攻の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。備考欄に専攻名の記載のない科目については、修了要件に含めることはできません。
- ⑥本学は、京都府立大学と単位互換協定を締結しているため、同大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻の科目を受講し、単位を取得することができます。その取得した単位は、本プログラムの選択必修科目の単位に含めることができます。なお、同大学院で履修した科目は修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目及び学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。

○昆虫バイオメディカル教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
				1～2年次				
				春		秋		
				①	②	③	④	
応用昆虫ウイルス学特論	森 肇	2	☆			2		
疾患モデル昆虫学特論	山口政光	2	☆	2				
染色体工学特論	山口政光・伊藤雅信	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講
昆虫工学特論	森 肇・小谷英治・ 高木圭子	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目
バイオメディカル学特論	井上喜博	2	●			2		応用生物学専攻開講科目
進化ゲノム学特論	高野敏行	2	☆	2				応用生物学専攻開講科目 西暦奇数年度開講・集中
細胞分子工学特論	某	2	☆			2		応用生物学専攻開講科目 平成28年度開講せず
生体制御分子設計	小堀哲生	2	☆			4		機能物質化学専攻開講科目
ヘルスサイエンス学特論Ⅰ	プログラム関係教員	2	●	2				京都府立医科大学、京都府立大学 の研究紹介あるいはバイオメディカル 分野のテクニカルセミナーを含む
ヘルスサイエンス学特論Ⅱ	プログラム関係教員	2	●			2		京都府立医科大学、京都府立大学 の研究紹介あるいはバイオメディカル 分野のテクニカルセミナーを含む
昆虫バイオメディカル特別実験 及び演習	関係教員	3	●			6		

(3) 繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

「繊維・ファイバー工学分野」の産業的な裾野は広がっており、グローバルな視点から見ると繊維産業は成長産業ですが、我が国の教育研究機関における教育者・研究者は激減しており、産業界から教育組織・体系の再構築や強化が強く求められています。

我が国大学院に「繊維・ファイバー工学分野」の専攻を有する高等教育研究機関（信州大学、福井大学、京都工芸繊維大学）が教育研究資源を連携・融合し、各大学の繊維研究分野における強み、連携における強み等を活かし、弱い機能を補完する形で我が国における繊維系大学院連合の構築を目指しています。

この繊維系大学院連合と関係学会、産業関連団体（産業界）とが連携して、同分野の基礎から応用、製品開発までの一貫した知識・技術を修得させ、グローバルな視野を持ち、課題設定力・課題解決力、リーダーシップを兼ね備えた技術者、研究者を育成することを目的として、繊維・ファイバー工学コース教育プログラムを実施します。

下記に掲げる本プログラムに関する科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、繊維・ファイバー工学コース修了者として認定証を交付します。（国家資格ではありません。）

繊維・ファイバー工学コース 教育プログラムの履修について

- ①本教育プログラムは、別に定める「履修生募集要項」に基づき出願し、選抜試験に合格した者を対象としています。
- ②本教育プログラムは、コース基幹科目及びコース連携科目からなります。
- ③履修区分欄に☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
- ④本教育プログラムの認定には、大学院の科目（表1）のうちから、コース基幹科目の選択必修を10単位以上、コース連携科目の選択科目を6単位以上の計16単位以上の単位を修得し、かつ、博士前期課程を修了することが必要です。
ただし、アカデミックインターンシップは国内・海外の両方を修得した場合でも、コース修了要件には最大2単位までしか算入できません。
- ⑤大学院の科目（表1）のうち、備考欄に「専攻共通開講科目」の記載がある科目については、10単位まで修了要件に含めることができます。また、備考欄に「先端ファイブプロ科学専攻開講科目」、「バイオベースマテリアル学専攻開講科目」の記載がある科目についても、先端ファイブプロ科学専攻、バイオベースマテリアル学専攻の者については、それぞれ所属する専攻の授業科目の修了要件単位に、その他専攻の者については、他専攻の開講の授業科目となるため、修了要件に含めることができるのは、他専攻の授業科目すべてを含め6単位を限度とします。
ただし、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目、単位互換制度等による他大学院科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑥信州大学、福井大学との単位互換協定により表2・3に示す各大学大学院の科目を受講し、単位を修得した場合は、本教育プログラムの選択科目の単位に含めることができます。
なお、別途、特別聴講生として履修登録申請手続きを行う必要があります。
また、修了要件にも含めることができますが、専攻共通科目、他専攻科目、学部科目のすべてを含め、10単位を限度とします。
- ⑦受講するに当たり、交通費等については、原則自己負担となります。なお、コース基幹科目実施のため、バス・宿泊先を準備することがあります。

○繊維・ファイバー工学コース 教育プログラム

表1（本学大学院博士前期課程科目）

授 業 科 目		担当教員	単位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						1～2年次				
						春		秋		
						①	②	③	④	
コース 基幹 科目	繊維系合同研修	青木隆史	2	演習	☆	4			集中、専攻共通開講科目 1年次	
	繊維系資格概論	浦川 宏	2	講義	☆		2		集中、専攻共通開講科目	
	アカデミックインターンシップ（国内）	浦川 宏・澤田美恵子・先端ファイ ブロ科学専攻担当教員・バイオヘ スマテリアル学専攻担当教員	2	実習	☆	3	3		集中、専攻共通開講科目、 1年次、春又は秋学期開講	
	アカデミックインターンシップ（海外）	安永秀計	2	実習	☆	3	3		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講	
	海外繊維・ファイバー工学事情Ⅰ（欧米）	佐々木園	2	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講	
	海外繊維・ファイバー工学事情Ⅱ（アジア）	鋤柄佐千子	2	講義	☆	1	1		集中、専攻共通開講科目、 春又は秋学期開講	
	繊維基礎科学（英語版e-Learning科目）	奥林里子	2	講義	☆		2		専攻共通開講科目	
コース 連携 科目	テキスタイルサイエンスⅠ	鋤柄佐千子	2	講義	○	2			先端ファイブロ科学専攻開講科目	
	テキスタイルエンジニアリングⅢ	奥林里子	2	講義	○		2		先端ファイブロ科学専攻開講科目	
	テキスタイルエンジニアリングⅣ	桑原教彰	2	講義	○		2		先端ファイブロ科学専攻開講科目	
	Kansei-Human設計	森本一成	2	講義	○	2			先端ファイブロ科学専攻開講科目・集中	
	サスティナビリティ設計	（木村照夫）	2	講義	○	2			先端ファイブロ科学専攻開講科目・集中	
	バイオベースポリマー	（木村良晴）	2	講義	○			4	バイオベースマテリアル学専攻開講科目・集中	
	バイオ機能材料	浦川 宏	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目	
	バイオカラーサイエンス	安永秀計	2	講義	○		4		バイオベースマテリアル学専攻開講科目	
	生物資源システム工学	小原仁実	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目	
	バイオナノファイバー	山根秀樹	2	講義	○	4			バイオベースマテリアル学専攻開講科目	

表2 (信州大学大学院理工学研究科 (修士課程) 繊維・ファイバー工学コース教育プログラム科目コース連携科目)

授 業 科 目		担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数		備 考
						1～2年次		
						春	秋	
コ ー ス 連 携 科 目	繊維技術士特論	(斉藤磯雄) 他	2	講義	○	1	1	集中、春又は秋学期開講
	繊維材料科学特論	大越 豊	2	講義	○	2		
	ヤーンテクノロジー特論	(松本陽一)	2	講義	○	2		
	繊維製品快適性評価特論	西松豊典	2	講義	○	2		
	衣服工学特論	高寺政行・金 晃屋	2	講義	○		2	
	感性計測特論	上條正義・佐古井智紀	2	講義	○		2	
	感性繊維化学特論	田中稔久	2	講義	○		2	
	複合材料力学特論	鮑 力民	2	講義	○		2	
	機能化学特論Ⅰ	浅尾直樹	2	講義	○		2	
蚕利用学特論Ⅰ・Ⅱ	梶浦善太	2	講義	○	2		(Ⅰで1単位、Ⅱで1単位)	

表3 (福井大学大学院工学研究科 (博士前期課程) 繊維・ファイバー工学コース教育プログラム科目コース連携科目)

授 業 科 目		担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数		備 考
						1～2年次		
						春	秋	
コ ー ス 連 携 科 目	繊維科学概論	(宮崎孝司)	2	講義	○	2		
	材料力性	島田直樹	2	講義	○		2	
	繊維・高分子材料工学	中根幸治	2	講義	○		2	
	繊維・高分子材料レオロジー特論	田上秀一	2	講義	○		2	
	繊維・高分子加工工学	植松英之	2	講義	○	2		
	分子相互作用特論	入江 聡	2	講義	○		2	
	界面コロイド化学	久田研次	2	講義	○		2	
	カラーレーション工学	廣垣和正	2	講義	○	2		
	生命機能工学	末 信一郎	2	講義	○	2		
	生体材料化学	藤田 聡	2	講義	○		2	

(4) 価値設計コース 教育プログラム

本特別教育プログラムは、設計工学系博士前期課程専攻の共通教育コースとして、設計工学系個別専門分野において修得する専門性を基盤としつつ、個別専門分野の枠を越えた俯瞰的視野をもち、ものづくりの過程でそれらを総合化できる能力を実践的教育により育成するために開設されました。与えられた課題に対する解を探索する「課題解決型学習」を通して個別専門知の統合化の過程を経験することにより、課題に含まれる価値を現実のものとして実体化するための、工学的設計法（価値設計）の修得を目標とします。

履修生が所属する各専攻の修了要件に加えて、以下の科目群から、価値設計コース必修科目である「デザインマネジメント演習ⅠおよびⅡ（計6単位）」を含む14単位以上を取得した者に対して「価値設計コース」修了認定書を交付します。但し、デザイン経営工学専攻の学生については、下記科目群より他専攻提供科目を2科目4単位以上修得することを要件とします。

なお、設備などの都合により受講者数を制限することがあります。特定課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えるかどうかは各専攻に委ねるものとします。

○価値設計コース 教育プログラム

(本学大学院博士前期課程科目)

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
機械安全設計論	射場大輔・森脇一郎	2	講義	○			4		機械設計学専攻開講科目
生産システム論	軽野義行	2	講義	○			4		機械設計学専攻開講科目
ストラテジックデザイン論	専攻長・(東崎康嘉)・ (園部浩之)・(宮部正洋)・ (坂口智也)	2	講義	○			2		機械設計学専攻開講科目・集中
Technical Writing & Communication	(Wever, Steven)	2	講義	○	2				機械物理学専攻開講科目・ 2クラスで実施
計算物理学	(松野謙一)	2	講義	○		4			機械物理学専攻開講科目
プロジェクトマネジメント論	専攻長・(久保浩三)	2	講義	○			2		機械物理学専攻開講科目・集中
認知的インタラクションデザイン学	岡 夏樹・渋谷 雄・ 西崎友規子・(植田一博)・ (鮫島和行)・(高橋英之)・ (渡邊克己)・(渡辺富夫)	1	講義	○	1				情報工学専攻開講科目・集中
人間情報環境特論	渋谷 雄・倉本 到・ (園山隆輔)	2	講義	○			4		情報工学専攻開講科目
Kansei-Human設計	森本一成	2	講義	○	2				先端ファイブ科学専攻開講科目・集中
サステナビリティ設計	(木村照夫)	2	講義	○	2				先端ファイブ科学専攻開講科目・集中
製品デザインマネジメント	木谷庸二	2	講義	○	2				デザイン経営工学専攻開講科目
ファシリティデザインマネジメント	仲 隆介・ LI ANDREW I KANG	2	講義	○			2		デザイン経営工学専攻開講科目
グローバル・マーケット研究	(坂本和子)	2	講義	○		4			デザイン経営工学専攻開講科目・集中
デザインマーケティング	久保雅義	2	講義	○			2		デザイン経営工学専攻開講科目
製品創成産業論	川北眞史	2	講義	○		4			デザイン経営工学専攻開講科目
色彩工学	佐藤哲也・北口紗織	2	講義	○	4				デザイン経営工学専攻開講科目
生活空間環境論	小山恵美	2	講義	○	4				デザイン経営工学専攻開講科目
デザインマネジメント演習Ⅰ	専攻関係教員	3	演習	●	6				デザイン経営工学専攻開講科目(1年次)
デザインマネジメント演習Ⅱ	専攻関係教員	3	演習	●			6		デザイン経営工学専攻開講科目(1年次)
フィジカルインタラクションデザイン	岡 夏樹・櫛 勝彦・ 荒木雅弘・岡田栄造・ 野宮浩揮	4	講義 ・ 演習	○	4				情報工学専攻開講科目・ デザイン学専攻開講科目 (受講希望者多数の場合抽選)
ソーシャルインタラクションデザイン	渋谷 雄・川北眞史・ 倉本 到・西村雅信・ 池側隆之・山本景子	4	講義 ・ 演習	○			4		情報工学専攻開講科目・ デザイン学専攻開講科目 (受講希望者多数の場合抽選)

(5) 計数理学コース 教育プログラム

本プログラムは、工学における専攻分野を生かしつつ数理科学の幅広い素養を身につけた学生を育成することを目指しています。下記に掲げる科目の単位を修得し、博士前期課程を修了すれば、プログラム修了が認定されます。

計数理学コース教育プログラムの履修について

- ① 履修区分欄に☆印を付したものは選択必修科目を、○印を付したものは選択科目を示します。
(専攻専門科目については、次年度以降変更されることがあります。)
- ② 本教育プログラムの修了認定には、次の条件をすべて満たす必要があります。
(A) 以下の教科課程表から、合計 12 単位以上の単位を修得すること。
(B) 数理科学特論 I・II・III より 4 単位以上の単位を修得すること。
(C) 数理応用代数・数理応用幾何・数理応用解析・数理応用統計より 2 単位以上の単位を修得すること。
(D) 代数学セミナー・幾何学セミナー・解析学セミナー・確率論セミナーより 2 単位以上の単位を修得すること。
ただし、京都工芸繊維大学工学部科学部の対応する学部科目の修得単位をプログラム修了認定要件に含めることが出来ます。(学部在籍時に学部科目として取得した数学科目の単位を、博士前期課程の修了認定要件に含めることは出来ません)
- ③ このコースの教育プログラム教科課程表の備考欄には、各科目の属性等を示していますが、博士前期課程の修了要件に含めることができる単位については、大学院工学科学研究科履修規則 別表 4 (第 5 条第 1 項関係) の (1) 修了に必要な単位数で確認してください。

○計数理学コース 教育プログラム

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
数理科学特論Ⅰ	朝田 衛・井川 治・奥山裕介	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理科学特論Ⅱ	岩塚 明・塚本千秋・峯 拓矢	2	講義	☆	2				専攻共通科目
数理科学特論Ⅲ	大倉弘之・矢ヶ崎達彦・磯崎泰樹	2	講義	☆	2				専攻共通科目
統計物理学	播磨 弘・三浦良雄	2	講義	○	4				電子システム工学専攻専門科目
電子系・電子凝縮系の物理	萩原 亮	2	講義	○			2		電子システム工学専攻専門科目
計算物理学	(松野謙一)	2	講義	○		4			機械物理学専攻専門科目
計算流体力学	山川勝史	2	講義	○			4		機械物理学専攻専門科目 平成28年度開講せず
数値固体力学	高木知弘	2	講義	○	4				機械物理学専攻専門科目
確率応用システム論	澤田祐一	2	講義	○			4		機械設計学専攻専門科目
最適化理論	軽野義行	2	講義	○				4	機械設計学専攻専門科目
熱・統計物理学	猿山靖夫・八尾晴彦	2	講義	○			2		材料制御化学専攻専門科目
階層構造形成論	藤原 進・橋本雅人	2	講義	○	2				材料制御化学専攻専門科目
数理応用代数	朝田 衛	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用幾何	井川 治	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用解析	峯 拓矢	2	講義	☆			2		専攻共通科目
数理応用統計	磯崎泰樹	2	講義	☆			2		専攻共通科目
代数学セミナー	朝田 衛・奥山裕介	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
幾何学セミナー	井川 治・塚本千秋・矢ヶ崎達彦	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
解析学セミナー	岩塚 明・峯 拓矢	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目
確率論セミナー	大倉弘之・磯崎泰樹	2	講義・演習	☆	2				専攻共通科目

（６）建築都市保存再生学コース 教育プログラム

現在進みつつあるストック型社会の実現に向けて必要となる、建築や都市の保存・再生の事業をリードできる人材を育成する大学院教育プログラムを、大学院博士前期課程建築学専攻において実施します。ここでは、従来の建築や都市の歴史学、文化財の制度やその保存技術、伝統的建築の構造解析や耐震補強、保存・再生のマネジメント、保存・再生のために求められる設計デザインなど、既存の建築学の分野を広く横断する知識と技能を集結し、それらを駆使しながら実際の事業を担えることができる高度な知識・技能を修得することを目的とします。実習や特別講義の多くは、KYOTO Design Lab. との連携により実施されるものです。

建築都市保存再生学コースの履修について

- ①このコースは大学院博士前期課程建築学専攻に設置されるもので、この専攻に所属する学生のみが履修することができます。
- ②大学院博士前期課程建築学専攻の２年次以降からこのコースを履修することもできます。
- ③大学院博士前期課程建築学専攻の修了要件を満たし、その上で、以下に示す１６単位全てを修得し、かつ、コース修了試験に合格すれば、専攻の修了と同時に建築都市保存再生学コースの修了が認定されます。

○建築都市保存再生学コース 大学院博士前期課程

授 業 科 目	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	専攻 履修 区分	週授業時間数				備 考
					1～2年次				
					春		秋		
					①	②	③	④	
建築都市保存再生プロジェクトⅠ	専攻関係教員	2	演習	○	8				集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅡ	専攻関係教員	2	演習	○		8			集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅢ	専攻関係教員	2	演習	○			8		集中・建築学専攻科目
建築都市保存再生プロジェクトⅣ	専攻関係教員	2	演習	○				8	集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅰ	専攻関係教員	1	講義	○	2				集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅱ	専攻関係教員	1	講義	○		2			集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅲ	専攻関係教員	1	講義	○			2		集中・建築学専攻科目
建築都市再生学特別講義Ⅳ	専攻関係教員	1	講義	○				2	集中・建築学専攻科目
都市史	中川 理・小野芳朗・ 大田省一・岩本 馨・ 赤松加寿江	2	講義	○	4				建築学専攻科目
建築史	石田潤一郎・西田雅嗣・ 松隈 洋・清水重敦・ 矢ヶ崎善太郎	2	講義	○	4				建築学専攻科目

(7) グローバル教養プログラム

近年、グローバル化や少子高齢化など社会状況は急激に変化しています。これらの急激な変化に的確に対応でき、次代の社会を担うことのできる人材の育成が我が国の高等教育の急務となっています。このような状況の下、本学では、学部と大学院の一貫教育の実施、およびグローバル人材の育成強化等を目指して、教育制度の改革を精力的に実行しています。

この取り組みの一環として、平成27年度より大学院博士前期課程における教養教育科目（専攻共通科目）を大幅に拡充し、高い基礎学力に立脚した専門知識・技能の習得に加えて、外国語運用能力の習得やコミュニケーション力の強化を通したリーダーシップの醸成、国際レベルの教養修得などを通して、グローバルな現場でリーダーシップを発揮し組織やプロジェクトを成功に導く高付加価値型人材の育成を目指したプログラムを実施します。

① 大学院博士前期課程の全学生を対象とします。

② 履修生が所属する各専攻の修了要件に加え、専攻共通科目から4単位（うち2単位は英語系科目）を修得し、総合計34単位以上修得した者に対して、専攻の修了と同時にプログラム修了者として認定証を交付します。

③ 各科目群の特徴は次のとおりです。

- ・市民的教養とリーダーシップを育てる科目群・・・高等教養セミナー系、人文系、KIT大学院科目
- ・国際共通語としての英語鍛え直し科目群・・・英語系
- ・更なる高度な学習・研究段階へ進むための基礎となる専門科目群・・・数学系、高等教養セミナー系、人文系、自然科学系、KIT大学院科目
- ・個々の学生のキャリア展望に応じたキャリアサポート科目群・・・インターンシップ系、KIT大学院科目

○グローバル教養プログラム

修了に必要な単位数 （博士前期課程（修士課程） 国際科学技術コースを除く。）

専攻共通科目								総合計
数学系科目	英語系科目	高等教養セミナー系科目	人文系科目	自然科学系科目	インターンシップ系科目	KIT大学院科目	専攻共通科目合計	
	2						4	34

7. 日本語科目

博士前期課程（修士課程）及び博士後期課程に所属する外国人留学生のために、以下の日本語科目を開講しています。

この日本語科目は、外国人留学生のみが履修することができます。

ただし、日本語科目の単位は、修了要件単位に含めることができません。

1. 担当教員名を（ ）で囲んであるものは非常勤講師を示す。
2. 履修区分欄の●印は必修科目、☆印は選択必修科目、○印は選択科目を示す。
3. 授業科目の開講時期については、週授業時間数欄の春・秋に表示があるものはセメスター制による開講科目、①～④に表示があるものはクォーター制による開講科目を示す。
週授業時間数欄の「春」は春学期、「秋」は秋学期、「①」は第1クォーター、「②」は第2クォーター、「③」は第3クォーター、「④」は第4クォーターを示す。
4. 本表は、教育の改善・向上のために変更することがある。

教科課程表

授 業 科 目	英文授業科目名	担当教員	単 位 数	授 業 形 態	履 修 区 分	週授業時間数				備 考
						春		秋		
						①	②	③	④	
日本語コミュニケーションⅠ	Japanese CommunicationⅠ	(水野マリ子)	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅡ	Japanese CommunicationⅡ	(水野マリ子)	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅢ	Japanese CommunicationⅢ	伊藤翼斗	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅣ	Japanese CommunicationⅣ	伊藤翼斗	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅤ	Japanese CommunicationⅤ	伊藤翼斗	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅥ	Japanese CommunicationⅥ	伊藤翼斗	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅦ	Japanese CommunicationⅦ	(水野マリ子)	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅧ	Japanese CommunicationⅧ	(水野マリ子)	1	演習	○	2				
日本語コミュニケーションⅨ	Japanese CommunicationⅨ	澤田美恵子	1	演習	○			2		
日本語コミュニケーションⅩ	Japanese CommunicationⅩ	澤田美恵子	1	演習	○	2				
日本語初級Ⅰ	Japanese for BeginnersⅠ	(榎原実香)	1	演習	○	2				
日本語初級Ⅱ	Japanese for BeginnersⅡ	(榎原実香)	1	演習	○			2		